

⑬日本国特許庁

⑪特許出願公開

公開特許公報

昭53—146866

⑤Int. Cl.²
A 47 J 37/08

識別記号

⑥日本分類
127 E 131庁内整理番号
6572-4B

④公開 昭和53年(1978)12月21日

発明の数 1
審査請求 未請求

(全 2 頁)

⑤④厚薄双口トースター

⑦発明者 永井正哉

広島市白木町大字小越486番地

②①特 願 昭52—62372

⑦①出 願 人 永井正哉

②②出 願 昭52(1977)5月26日

広島市白木町大字小越486番地

1 明細書の浄書(内容に変更なし)
明 細 書

1. 発明の名称 厚薄双口トースター

2. 特許請求の範囲

厚切り用加熱面と薄切り用加熱面を持つトースター(toaster)。

3. 発明の詳細な説明

まだ1斤を4枚に切ったパンは販売されていないようである。

しかし家庭におけるパンの切り方はだんだん厚くなる傾向にあるようであり、これにオーブントースターが拍車をかけているようである。

確かに厚く切ったパンは水分の蒸発が少なく、やわらかく焼けておいしい。

温度調節の出来るオーブントースターと異なり、普通のトースターを厚切り用に加熱面を設計すると薄切りの場合に加熱の効率が下がり、表面に焦りが出来ない。

この点を考慮してパンの厚さに応じてヒーターの移くトースターが東芝から発売されている。

これで機能的にも経済的にも充分であるが、ヒ

ーターを移かす面倒がある。

本発明はこういった面倒がないところに利点がある。

これを見ると、厚切り用の加熱面と薄切り用の加熱面を持つトースターである。

加熱面の幅を3、4枚切り用と6から8枚切り用にし、それぞれにポップアップ(pop up)機構を取り付け、それぞれにスイッチを組み合せたものに商品化すれば、厚さに適応した加熱が出来1枚焼用トースターとして重宝されよう。

特許出願人 永井正哉

手続補正書(方式)

特開 昭53-146866(2)

昭和52年9月29日

特許庁長官 熊谷善二 殿
昭和52年9月30日差出

1. 事件の表示 昭和52年特許願第62372号
2. 発明の名称 厚薄双口トースター
3. 補正をする者
事件との関係 特許出願人
住所(居所) 広島市白木町大字小越
486番地
氏名(名称) 永井 正哉
4. 補正命令の日付 昭和52年8月6日
5. 補正の対象 願書及び明細書
6. 補正の内容 全文浄書(内容に変更なし)

